

米国環境保護庁
ワシントン,D.C.20460

大気放射局

2014年3月6日

データセンターストレージ製造事業者もしくは関係各位

米国環境保護庁(EPA)は、ENERGY STARデータセンターストレージ製品を認証するために用いるモデル化データに対する精度要件について大事なことに最近気がついた。ストレージ製品のモデル品の開発を奨励することは、購買者に提供する情報を改善し、試験にかかる負担を減らすことになるので、ENERGY STARプログラムの重要な長期的目標である。問題をレビューし、業界の専門家に相談した結果、EPAは、初期の段階で現行のような±5%要件という高すぎる性能目標を設定してしまうと、新しいモデル品を創り出すのが遅れてしまうかもしれないと考えるようになった。

そこで、EPAは、モデル品に対する認証過程で用いる精度要件を±10%に緩和することにした。EPAは、今後もより精度の良いモデル品を開発してもらいたいので、データセンターストレージ仕様の今後の改訂版に関しては、より厳密な精度要件に戻ること考えている。該当する用語変更は下記に示すとおりである。

- i. セクション3.5.4.v: 上記のセクション3.5.4.ivで提出された物理的な測定値全てに対する、製造事業者が作成したモデル化データが±10%以内にある場合には、モデル化データを下記の全てのシステム容量（大きさ）に対して提出すること。

EPAとしては、今後、認証及びデータ提示過程において、データセンターストレージ認証機関はこの精度範囲内でモデルデータを受け入れると考えている。

EPAは、現行の用語についてさらに明確にするために、微小な修正をいくつか行った。これらの微小修正では、本プログラム要件の構造もしくは基本的な考え方については変更していない。質問については、EPAの RJ Meyers (Meyers.Robert@epa.gov もしくは or 202-343-9923) または ICF InternationalのClinger (John.Clinger@icfi.com もしくは215-967-9407) に直接連絡のこと。

ENERGY STARの継続的な支援に感謝する。

Sincerely,

Robert Meyers

ENERGY STAR データセンターストレージ、製品マネージャ